

平成27年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 荒川化学工業株式会社

コード番号 4968 URL <http://www.arakawachem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 谷奥 勝三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務統轄部長

(氏名) 宮下 泰知

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 06-6209-8500

平成27年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	39,182	△1.0	1,538	△0.3	1,714	4.0	1,114	△6.8
27年3月期第2四半期	39,593	11.5	1,543	36.0	1,649	15.8	1,195	37.9

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 431百万円 (△62.5%) 27年3月期第2四半期 1,150百万円 (△56.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	54.73	54.58
27年3月期第2四半期	59.23	59.18

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	85,128	48,159	54.5
27年3月期	85,245	47,845	54.3

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 46,419百万円 27年3月期 46,252百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	13.00	—	15.00	28.00
28年3月期	—	15.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,000	1.5	3,750	26.6	4,000	16.6	2,400	7.9	117.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	20,515,200 株	27年3月期	20,301,100 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	12,521 株	27年3月期	12,281 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	20,371,401 株	27年3月期2Q	20,186,873 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結損益計算書関係)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国景気が拡大基調を維持し、欧州景気が回復基調にあるなか、中国やASEAN地域の経済が減速し、全体としては緩やかな成長に留まりました。国内経済は、個人消費が横ばいとなり、回復の動きに停滞が見られました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、第3次中期経営計画の方針に沿った重点施策を進め、中国などのアジア地域ならびに欧州における事業拡大や事業開発の促進に注力してまいりました。

その結果、中国経済の減速などによる需要低迷により、売上高は伸び悩みましたが、採算性の改善に努め、当第2四半期連結累計期間の売上高は391億82百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は15億38百万円（同0.3%減）、経常利益は17億14百万円（同4.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億14百万円（同6.8%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

<製紙薬品事業>

国内製紙業界は、段ボール原紙など板紙の生産が堅調に推移しました。一方、印刷・情報用紙は、需要が低迷しました。このような環境のもと、当事業におきましては、国内販売は前年を下回りましたが、アジア地域における拡販が寄与し、海外においては増収増益となりました。

その結果、売上高は100億47百万円（前年同期比0.5%減）、セグメント利益は5億97百万円（同6.6%増）となりました。

<化成品事業>

粘着・接着剤業界は、世界的に紙おむつ向け接着剤の需要が増加しております。一方、印刷インキ業界は出版・広告分野では低迷が続いております。このような環境のもと、当事業におきましては、粘着・接着剤用樹脂については欧州における需要は旺盛なもの、中国での需要低迷もあり、売上高は225億26百万円（前年同期比4.1%減）、セグメント利益は9億10百万円（同11.3%増）となりました。

<電子材料事業>

電子工業業界は、スマートフォンが需要を牽引しました。このような環境のもと、当事業におきましては、光硬化型樹脂等が回復傾向にあることに加え、新たに子会社化した山口精研工業株式会社の精密研磨剤が寄与し、売上高は64億50百万円（前年同期比10.3%増）、セグメント利益は前年度の損失から黒字転換し、15百万円（前年同期はセグメント損失79百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金が18億92百万円、たな卸資産が6億57百万円減少した一方、現金及び預金が22億98百万円、有形固定資産が4億58百万円、無形固定資産が5億51百万円増加し、前連結会計年度末並みの851億28百万円となりました。

負債は、短期借入金が9億61百万円、長期借入金が8億21百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が11億9百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ4億30百万円減少し、369億69百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金が減少したものの、利益剰余金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ3億13百万円増加し、481億59百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ23億79百万円増加し、105億16百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、31億93百万円の増加となりました。これは、税金等調整前四半期純利益(18億29百万円)、減価償却費(12億88百万円)および売上債権の減少(21億75百万円)などにより資金が増加した一方、仕入債務の減少(14億2百万円)などにより資金が減少した結果であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、24億81百万円の減少となりました。これは、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出(14億98百万円)や固定資産の取得による支出(11億91百万円)が主なものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、15億98百万円の増加となりました。これは、借入金の純増加(17億30百万円)が主なものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、中国における粘着・接着剤用樹脂の需要減少などにより、売上高は平成27年5月7日に公表しました前回予想を修正いたします。利益面においての修正はありません。

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	85,000	3,750	4,000	2,400	118.29
今回修正予想(B)	83,000	3,750	4,000	2,400	117.46
増減額(B-A)	△2,000	0	0	0	—
増減率(%)	△2.4	0.0	0.0	0.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	81,742	2,961	3,431	2,224	109.94

※ 当第2四半期累計期間におけるストック・オプションの権利行使により、発行済株式総数が214,100株増加しております。1株当たりの予想当期純利益の算出につきましては、当該増加分を含めて計算した予想期中平均株式数に基づき算出しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

原価差異の繰延処理

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）として繰り延べております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準第44-5項（4）及び事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ89百万円減少しております。また、当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,228	10,526
受取手形及び売掛金	29,649	27,757
有価証券	-	232
商品及び製品	8,440	7,968
仕掛品	1,070	1,319
原材料及び貯蔵品	7,476	7,041
繰延税金資産	549	510
その他	745	881
貸倒引当金	△142	△146
流動資産合計	56,018	56,092
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,793	7,948
機械装置及び運搬具（純額）	7,352	6,918
土地	4,797	5,219
建設仮勘定	553	789
その他（純額）	331	409
有形固定資産合計	20,827	21,285
無形固定資産		
のれん	71	645
その他	500	477
無形固定資産合計	571	1,122
投資その他の資産		
投資有価証券	7,125	5,877
繰延税金資産	187	194
その他	530	570
貸倒引当金	△14	△15
投資その他の資産合計	7,828	6,627
固定資産合計	29,227	29,036
資産合計	85,245	85,128

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,807	10,698
短期借入金	9,592	10,554
未払法人税等	451	497
未払消費税等	243	126
繰延税金負債	70	72
賞与引当金	1,035	1,026
役員賞与引当金	46	22
修繕引当金	94	13
設備関係支払手形	134	73
その他	3,451	3,112
流動負債合計	26,926	26,195
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	2,683	3,504
繰延税金負債	1,393	1,091
修繕引当金	-	12
退職給付に係る負債	813	639
資産除去債務	90	91
その他	493	435
固定負債合計	10,474	10,774
負債合計	37,400	36,969
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,192	3,284
資本剰余金	3,414	3,505
利益剰余金	34,298	35,133
自己株式	△11	△12
株主資本合計	40,893	41,911
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,572	1,814
為替換算調整勘定	2,620	2,536
退職給付に係る調整累計額	165	157
その他の包括利益累計額合計	5,358	4,508
新株予約権	23	17
非支配株主持分	1,570	1,722
純資産合計	47,845	48,159
負債純資産合計	85,245	85,128

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	39,593	39,182
売上原価	32,238	31,415
売上総利益	7,355	7,767
販売費及び一般管理費	5,812	6,228
営業利益	1,543	1,538
営業外収益		
受取利息	11	17
受取配当金	64	85
不動産賃貸料	60	61
為替差益	6	76
その他	130	227
営業外収益合計	273	468
営業外費用		
支払利息	129	122
持分法による投資損失	17	27
支払手数料	-	89
その他	20	53
営業外費用合計	167	292
経常利益	1,649	1,714
特別利益		
固定資産売却益	20	0
投資有価証券売却益	-	127
受取補償金	※ 440	-
特別利益合計	461	127
特別損失		
固定資産除売却損	11	12
特別損失合計	11	12
税金等調整前四半期純利益	2,099	1,829
法人税、住民税及び事業税	535	492
法人税等調整額	132	117
法人税等合計	667	610
四半期純利益	1,432	1,219
非支配株主に帰属する四半期純利益	236	104
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,195	1,114

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	1,432	1,219
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	350	△758
為替換算調整勘定	△612	△0
退職給付に係る調整額	△12	△7
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	△22
その他の包括利益合計	△281	△788
四半期包括利益	1,150	431
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	967	274
非支配株主に係る四半期包括利益	183	156

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,099	1,829
減価償却費	1,280	1,288
のれん償却額	30	61
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△43	△15
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19	△24
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△155	△182
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△127
固定資産除売却損益 (△は益)	△9	12
受取利息及び受取配当金	△75	△103
支払利息	129	122
持分法による投資損益 (△は益)	17	27
売上債権の増減額 (△は増加)	△240	2,175
たな卸資産の増減額 (△は増加)	703	747
仕入債務の増減額 (△は減少)	△855	△1,402
未払消費税等の増減額 (△は減少)	88	△116
その他	408	△585
小計	3,363	3,709
利息及び配当金の受取額	72	103
利息の支払額	△149	△113
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△427	△505
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,859	3,193
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	-	△6
有形固定資産の取得による支出	△873	△1,162
有形固定資産の売却による収入	42	5
投資有価証券の取得による支出	△12	△13
投資有価証券の売却による収入	-	244
無形固定資産の取得による支出	△19	△28
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△1,498
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	0	△11
その他	-	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△861	△2,481
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△477	230
長期借入れによる収入	494	2,200
長期借入金の返済による支出	△734	△700
新株予約権の行使による株式の発行による収入	107	177
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△261	△304
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△870	1,598
現金及び現金同等物に係る換算差額	△124	69
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,002	2,379
現金及び現金同等物の期首残高	6,576	8,136
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,578	10,516

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 受取補償金の内容

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

連結子会社である厦門荒川化学工業有限公司において、都市計画の変更にともなう事業拠点の移転要請により、補償金を受領しております。受領金額より移管費用や固定資産除却損等を控除した金額を特別利益として計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	製紙薬品	化成品	電子材料	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,097	23,495	5,850	39,443	150	39,593
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	55	—	55	12	68
計	10,097	23,550	5,850	39,498	162	39,661
セグメント利益又は損失(△)	560	818	△79	1,299	9	1,309

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,299
「その他」の区分の利益	9
全社費用の配賦差額(注) 1	362
営業外損益(注) 2	△128
四半期連結損益計算書の営業利益	1,543

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	製紙薬品	化成品	電子材料	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,047	22,526	6,450	39,024	157	39,182
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	44	—	44	14	58
計	10,047	22,570	6,450	39,069	171	39,240
セグメント利益	597	910	15	1,523	10	1,533

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,523
「その他」の区分の利益	10
全社費用の配賦差額(注) 1	92
営業外損益(注) 2	△87
四半期連結損益計算書の営業利益	1,538

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「電子材料」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間に、山口精研工業株式会社の全ての株式を取得し、連結子会社としております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において607百万円であります。